

第1回教育課程編成委員会 議事録

日時 平成30年3月22日(木) 14:00~16:00

場所 愛仁会看護助産専門学校 会議室

出席委員 大阪府看護協会 会長 高橋弘枝

フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団 常務理事 小宅比佐子

社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院 院長 松森良信

医療法人蒼龍会 井上病院 看護部長 西原伸美

愛仁会看護助産専門学校 学校長 井阪俊彦

愛仁会看護助産専門学校 副学校長 小森孝子

愛仁会看護助産専門学校 看護学科 教育主事 真島久美子

愛仁会看護助産専門学校 看護学科 教育主事 岡村稔子

愛仁会看護助産専門学校 助産学科 教育主事 増本綾子

愛仁会看護助産専門学校 事務部長 橘宗一郎 (書記)

議事次第

1. 学校長挨拶
2. 委員紹介
3. 教育課程編成委員会規程について
4. 現在の教育課程について説明
5. 委員からの意見は以下のとおり。
 - ・基礎専門分野から地域包括ケアを意識した学習内容になっていて評価できる。精神科の実習での患者様の「自助」についてのケアをどのように考えるか検討してはどうか。
 - ・実習指導などでは時代に合わせた学習が実施され、指導者会などで周知されているが、現場(指導者)が教育の全体感を持った指導ができるよう学習の機会があれば良いと思う。
 - ・OSCEなどシミュレーションを行う学習は良い。高齢者、認知症が増える中で病棟での多重課題にどう取り組むか、学生が学ぶ機会が必要。
 - ・学校では基礎的学習の場であるが、看護師としての倫理観について倫理綱領も含め学習が求められる。実習の場面で、看護師が患者様にどのように関わっているか具体的に説明する事で、看護倫理について繰り返し理解させる学習が重要である。
 - ・解剖などの学習を定着させるために、看護形態機能学や臨床とのユニフィケーションが効果的であると思う。また、臨床指導者会や指導者の研修会などで、実習要項やカンファレンスのあり方、教育の方法、ポイントについて共有化を進めているが、特に臨床ではカンファレンスの場面での看護師の学生への係わり方が重要である。臨床の看護師が、学生に

看護を語ることは、臨床の看護の質の向上にもつながる。

- ・ファシリテーターの育成は非常に重要である。
- ・社会人基礎力について臨床と連携し可視化を進める取り組みは重要である。特にコミュニケーション力は重要と考える。回復期病棟では、患者様へのケアについてチーム医療の結果、職種が連携したケアが行われており、看護師が看護師の役割を認識し仕事ができるかが重要になっている。
- ・臨床では学生指導を通じて共に学ぶことが重要と思っている。患者様の思いを汲み取り看護計画を作成する看護の視点を、学生に伝えるのは臨床の役割である。
- ・訪問看護などは、実際に病院の体制が確保されていなければ、看護だけで患者様のケアが実践できていない。診療報酬改定にもその意向が示されている。看護を統合する力を学習させるためにも、しっかり基本である看護の学習が重要である。多様性が増す臨床で看護がどこに存在するかを把握できるよう基礎力(技術力)を身につけることが、様々な働き方に対応できる力になることを学生へ理解させてほしい。
- ・看護学概論や関係法規で「看護の考え方」については学習時間を設けているが、更に学習が進むようどのタイミングで学ばせるかを検討したい。
- ・大学での学びでは得られない臨床実習による学びの場が専門学校の強みである。患者様のベッドサイドで行う看護師のケアは看護の基本であり、体験を通じて学習しているから国家試験にも対応できる力が身につくことになる。
- ・福祉用具等の取り扱い(移動やリフトの活用、車椅子操作)なども技術力に繋がる学習になる。ボディメカニズムを理解した技術についての学習も重要である。

その他多くの意見が寄せられた。

次回会議予定

日時 平成30年9月12日(水) 14:00~16:00

場所 愛仁会看護助産専門学校 会議室

議題 他職種との連携との学び、看護師としての役割について など

以上